

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

速水一 生さん

代表取締役社長

ハヤミ工業株式会社

ハヤミ工業株式会社

- 代表者／
代表取締役社長 速水一 生
- 従業員数／97名
- 住所／本社
滋賀県長浜市木之本町黒田313-2
- 創業／1927年
- 業務内容／ハイテク繊維を利用した各種産業用ロープの製造販売、家庭用・オフィス用AVファニチャーの開発・販売

TEL／0749-82-4334
URL／<http://www.hayami.co.jp/>



ハイテク繊維とAVファニチャーで ニーズをかたちに

古くから湖北の宿場町として栄えてきた木之本は、良質な生糸の生産地としても知られ、今でも昔ながらの手法で三味線や琴など和楽器糸を作るメーカーが残っている。そんな地域特性を地盤に、ハイテク繊維を用いた機能性組紐「スーパーコード®」の開発・製造を行っているのがハヤミ工業。楽器糸から新素材ロープ、そしてオーディオ・ビジュアル(AV)ファニチャーブランド「ハミレックス」へと事業を拡げ、いずれも自ら販売ルートを開拓してきた。創業以来のコア技術を軸に高付加価値化を図りつつ、時の流れに合わせて事業を変化させ発展してきた同社は、地域に生きる企業として多くのことを教えている。



機能性・デザイン性など付加価値を追求したAVファニチャーブランド「ハミレックス」

▶24時間稼働している本社工場仕入れた原糸に擦りをかけ、ポビンに巻き、組み紐状にしていく



楽器から人工衛星まで

— 創業は昭和2年と伺いました

当初、祖父が始めたのはラジオ店でした。といってもいまの電器店とは少し違い、店先でラジオを組み立て、その場で売るといったものだったようです。そのころ、ラジオのダイヤルで可変コンデンサを回すために使われるコード(紐)には、滑らず伸びない生糸が最適といわれていました。木之本は昔から生糸の産地ですから、材料もすぐに手に入ったのでしょう。

戦後すぐ、三味線や琴といった楽器用の糸や「ハミロン」のブランド名でダイヤルコードの製造を始め、昭和29年「速水楽器糸株式会社」を設立。当時、楽器糸の専門メーカーは少なく、ダイヤルコードとあわせて全国に行商で販路を広げていったそうです。

— 現在は用途が広がっていますね

1970年代にはデュポン社の「ケブラー®」に代表される引張強度に優れた合成繊維が普及し、当社も生糸から化繊を使った新素材へ製品を拡大してきました。現在では「スーパーコード」と呼ばれるハイテク繊維を使った高性能ロープの開発・製造を手掛けています。携帯ストラップからエアコンカバーの落下防止ワイヤなど家電製品、インテリア、釣糸や自動車、産業機械部品など幅広い分野に使われていて、特殊なものでは人工衛星の太陽電池パネルなどでも当社製品が採用されています。

ハミロンは売り上げの9割が受注生産で、木之本の本社工場で製造しています。お客様の用途にあわせてその都度、糸の種類や組み方を変えるので製品数はまさに無限大といえます。



家電や自動車をはじめ人工衛星にも使われている同社の「スーパーコード®」

糸からオーディオへ

— 事業のもう一つの柱にAVファニチャーがありますね

昭和41年からハミロンの技術を生かしてスピーカーの前面に貼るネットの生産をスタートし、浜松の木工会社に納めていたんです。その会社と共同でオリジナル商品を開発しようということになり、AVラックを手掛けるようになりました。ちょうど当時はオーディオブームで、アンプやチューナーなどが別になったコンポーネントステレオが人気でした。そこからコンポ用ラックやテレビ台、業務用ラックなどに種類を広げていき、「ハミレックス」というブランドで企画・販売を開始しました。現在、売り上げ構成比はAVファニチャー9割、繊維関連は1割で、ラック類の製造拠点は国内に限らず、早くから海外の協力工場でも生産しており、今では仕入れ金額の2/3を占めています。



コンパクトタイプからワイドタイプまで網羅したラックシッポモデル「グリーン」シリーズ

— 独自の販売ルートをお持ちとか

販売についてはハミロンと同じく、早くから全国各地に自社で営業をかけ、中間マージンのない直売を基本としてきました。特に当社では早くから大型家電量販店と直接取引をしており、汎用性のある商品という位置づけで販売店様の在庫リスクの低減、また価格比較の厳しいテレビだけでなくレコーダー、スタンドなどを含めたセット販売をしていただくことで、売上・利益増加に貢献しています。

しかし、テレビの背面形状や端子位置によっては、スタンドや金具に取り付けできない場合があり、改めて違う商品を手配しなくてはならず、販売店様やエンドユーザー様に時間的、人的にご迷惑をかけてしまいます。そこで当社では、テレビの新機種が出るたびに採寸調査してラックに取り付けができるかを確認しています。こうした、安心して販売していただくための地道な取り組みもあって、販売店様から高い評価をいただいています。

付加価値を生み出す開発力

— 地域の資産をうまく活用されていますね

生糸という地場産業から出発し、地元で時代の変化に合わせて事業を発展させてきたこと、また地域での雇用などを高く評価いただき、地域未来牽引企業に選出いただくことができました。これから人材不足の時代に入ることを念頭に、休日を増やすなど福利厚生に力を入れて会社の魅力度を高めようとしているところですので、今回の選定も当社の企業価値をアピールする客観的な評価のひとつとして、さまざまなかたちで打ち出していきたいと思えます。

地元の企業との交流も大切にしています。プラザさん主催の滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会※に参加しており、工場見学や経営状況などもお話しいただけるうえに、業界を越えた横のつながりも生まれ、本音で本当に困っていることを共有できるのでとても役立っています。

— これからの展望は

ハミロン事業部では技術継承の一方で自動化、省力化を進めています。また電気自動車の開発が進み、これまでの金属製ワイヤから、軽量で絶縁性に優れた繊維ロープに置き換えられはじめています。複雑な工程のものを多品種つくることのできる当社の開発力で、ぜひチャンスをつかんでいきたいと思えます。また、ハミレックス事業部では家庭用ラックの市場は4K放送が始まり、東京オリンピックでの盛り上がりにも期待できますが、より付加価値の高い業務用製品の開発・販売を強化していきたいと思っています。

私たちは創業時から原糸を“kg”で仕入れ“m”で売ってきました。単位を変えるということはすなわち付加価値を生み出す第一歩。いつも敏感にニーズをとらえ、付加価値を創出することこそ、当社が生きていく手だてだと考えています。



ディスプレイスタンド、壁掛・天井金具など業務用製品に今後の成長を期待

※滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会

産業支援プラザが事務局となり、経営課題の解決および人材育成を図ることを目的として、主に県内の中小製造業の若手経営者を対象とする研究会を開催しています。会員相互の技術向上や自立化の啓発を通じ、ネットワーク形成に結びつけることによって、会員の経営基盤の向上を目指します。

問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 販路開拓課 担当/船越

☎077-511-1413

☎077-511-1418

✉hanro@shigaplaza.or.jp